

「さわやか信州省エネ大作戦」 ～今夏の節電対策の取組結果概要～

平成 23 年 11 月
温暖化対策課

1 今夏の節電対策の総括

- 浜岡原子力発電所の全面停止を受け、今夏、中部電力管内の電力需給のひっ迫が懸念されたことから、6月15日から9月30日までの期間中、平日の昼間13～16時の電力需要のピーク時間帯において、最大電力を県全域で前年比5%（県機関は10%）削減することを目標に掲げ、日常生活や生産活動に影響の無い範囲で、節電・省エネルギーの取組を推進した。
- 県民総ぐるみの取組の下、各界各層の節電への協力により、計画停電や電力需給のひっ迫による停電を回避することができた。
- 期間中の県全域の節電の状況をみると、最大電力（最大3日平均電力）は、昨年の実績値（292.6万kW）を27.1万kW下回る、265.5万kWとなり、前年比で9.3%の削減となり目標を上回る抑制が図られた。なお、電力使用量についても、昨年と比較し削減が図られた。

【最大3日平均電力、一点最大電力の比較】

最大3日平均電力		差		一点最大電力		差	
H23年8月	H22年8月		前年比	H23年8月10日	H22年8月5日		前年比
265.5万kW	292.6万kW	▲27.1万kW	▲9.3%	270.3万kW	293万kW	▲22.7万kW	▲7.7%

※H23年の最大三日は、8月8～10日

- 県庁舎、合同庁舎においても、期間中の最大電力は、前年比で10.5%（県庁）、10.9%（10合同庁舎計）削減され、県機関における目標を達成した。
- この夏の節電対策は、電力需給のひっ迫を回避し、安全安心な生活を確保することを主眼として実施したものだが、同時に、一過性のものとせず、ライフスタイル、ビジネススタイルの転換につながる恒常的な取組として定着するよう、引き続き、県民各界各層の御協力をお願いしたい。

2 実施までの経過等

- 5月 9日 中部電力が浜岡原子力発電所の全面停止を決定
- 5月10日 「長野県省エネルギー・自然エネルギー推進本部」を設置
第1回本部会議を開催
- 5月13日 浜岡原子力発電所全面停止への対応に関する経済団体との意見交換会
- 6月15日 第3回本部会議（拡大会議）を開催、「さわやか信州省エネ大作戦」決定。
節電・省エネ対策連絡会議を開催、「さわやか信州省エネ大作戦」開始。

3 「大作戦」の基本方針と取組

- 中部電力管内の電力供給予備率（5%前後）を、安定供給の目安である8～10%まで引き上げるため、県民共通の節電・省エネ目標を設定。

◇平日の昼間13～16時の 使用最大電力について

前年比▲5%（県機関▲10%）

- 「カット」「シフト」「チェンジ」の手法によるピークカット対策を中心に、県民総ぐるみの節電・省エネ対策を実施。
- 家庭版、事業者版、県機関版節電・省エネアクションメニューを作成し普及啓発を図る。
- 県民、事業者、行政が一体となり節電に取り組む「ピークカットチャレンジ」を実施。
- 家庭における節電の取組を支援する「プレミアムエコポイント事業」を実施。
- 県内で、節電・省エネセミナーを3回開催。
- 県機関において、昼食休憩時間を13時～14時にずらす「ランチシフト」を実施。
- 農業分野における「節電アクションメニュー」の作成と関係団体と連携した普及啓発。
- 学校における節電を通じた環境教育の推進や学級活動における緑のカーテン活動の実施。
- 宿泊施設における省エネ推進や休暇の分散化、長期化に合わせた観光メニューの造成等。

4 「ピークカットチャレンジ」実施結果の概要

- 期間中3回実施した「ピークカットチャレンジ」の実施結果は、いずれも、県全域の目標▲5%、県機関の目標▲10%を上回っており、県民各界各層の取組の一定の成果が表われているものと評価。

- 実施結果の詳細は別紙のとおり。

（※）比較に当たっては、前年同週の間で気温が最も近似した日を「前年相当日」として、比較対象とした。

5 関連イベント等の実施状況

（1）「ピークカットチャレンジ」関連イベント

- 7月 7日 「七夕“打ち水”省エネ大作戦 in 長野」を実施
（長野駅前で長野市、市民団体、駅前事業者の協力を得て実施）
給油スタンドにおける“打ち水”のタイアップ実施
- 7月26日 「さわやか信州省エネ大作戦 ピークカットチャレンジ7.26」を開催
（主催：長野県ガス協会、協力：長野県）
 - ・講演 「頭のよい子が育つ家」
 - ・パネルディスカッション 「我が家の節電・省エネについて」「7.26 ピークカットイベント省エネ大作戦 in 長野」を開催
（主催：環境NPO法人、協力：長野県）
TOiGO広場で打ち水体験やダンボールうちわづくり等を実施
「ザ・ぎんざ にぎわい市（農産物市）」の開催

(2)「プレミアムエコポイント」関連イベント

- 8月 1日～ 「信州省エネコンテスト 2011夏編」を開催
9月30日 (主催：環境NPO法人、協力：長野県)
家庭や事業所を対象に節電効果を競う省エネコンテストを実施

(3) その他イベント等

- 5月26日 長野県温暖化対策病院協議会における「大作戦」の周知と協力依頼
- 6月14日 長野県温暖化対策宿泊施設協議会における「大作戦」の周知と協力依頼
- 8月20日 「信州環境フェア 2011」へブース出展
～21日 プレミアムエコポイント参加協力依頼、エコとく講習会実施等
- 8月24日 長野県温暖化対策商業施設協議会における「大作戦」に関する意見交換

6 節電・省エネセミナーの開催

- 7月 6日 「節電・省エネ対策セミナー」を開催(長野・松本2会場)
 - ・県温暖化対策課よりさわやか信州省エネ大作戦、中部電力より中部電力管内の電力需給状況等について説明
 - ・(財)中部電気保安協会により「節電・省エネに関する具体的な手法について」講演。
- 8月 2日 「平成23年度省エネルギーセミナー～今、注目の節電と太陽光発電～」を開催
 - ・講演
「経済活動と停電回避の両立をめざした『節電』の考え方と対策」
(財)電力中央研究所社会経済研究所 主任研究員 木村 宰氏
「太陽光発電の現状と今後の展望」
三菱電機(株)中津川製作所市場技術課 担当課長 前川 登氏

7 市町村や事業所等における主な取組

団体・事業所等	主な取組概要
市町村	全ての市町村において、従前の取組と合わせ、節電キャンペーンの実施、広報誌等によるPRなど、節電・省エネルギーの取組みが推進された。以下、特徴的な取組例。 <ul style="list-style-type: none">・節電対策本部等の新設・高い目標を掲げての節電の取組実施・議会本会議の早朝開催・ランチシフト実施やノー残業デーの徹底・LED照明等の購入補助の実施・「かんきょう家計簿」の取組の推進・グラウンド、体育館の夜間使用の禁止・環境大使による環境学習、講演会等の実施

株式会社イースタン	自然風取入れによる冷房運転の自粛、屋内照明の間引き点灯、自動販売機の停止等。
ながの東急百貨店	店内スポットライトの消灯、ネオン灯、広告灯等の早めの消灯、試着室照明のLED化、扇風機の設置等。
長野県Aコープ	ピークカットチャレンジと連動したタイムセール「午後の夕涼み市」の実施。
J R 東日本	省エネ型車両の投入、一運行当たりの車両数の減、車両ドアの半自動化、駅構内の一部消灯など。
長野県石油商組合	組合員SSにおける使用電力15%抑制の目標策定。キャノピー灯などの照明機器の消灯、自動販売機の終日消灯等。
長野県ガス協会	取組の特別強化デーの設定や具体的な実行計画の策定と実践の強化。協力企業への要請や社員の家庭における取組の推進等。

※以上の他にも、県下の事業所等で様々なお取組をいただきました。

団体・事業所等	主な取組概要
中部電力長野支店	テレビ、ラジオ、新聞等を通じた節電協力の依頼、節電・省エネセミナーの開催、電力需給に関する情報提供等。

8 県による広報活動の実施状況

- 「広報ながのけん(冊子・新聞)」、テレビ各社スポット放送、CATV広報番組(信州のちから)、SBCラジオ「ぐるっと信州! 県民ラジオ」、ラジオスポット、FM長野「ランチタイム@信州」、市町村有線放送、市町村広報誌等を通じた、省エネ大作戦、ピークカットチャレンジ、プレミアムエコポイント、エコとく講習会・診断等の広報と周知。
- スーパー、百貨店、コンビニ等の商業施設、金融機関、各業界団体、市町村等へ、節電中ポスター、ピークカットチャレンジポスター、家庭向けチラシ等の配布と掲示による広報と周知。
- 県公式HPに「節電・省エネポータルサイト」を開設し、節電関連情報、ポスターチラシ等の電子データを提供。

